ひがし北海道地域における観光地型MaaS実証実験
（国土交通省　新モビリティサービス推進事業選定（観光地型））

国土交通省

＜実証実験概要＞
ひがし北海道地域において、主に旅行者による利用を想定し、WILLERS MaaSアプリにより鉄道、バス、超小型モビリティ等を組み合わせて、移動ルートの検索・予約・決済を一括して行い、観光目的地を周遊しやすくするサービスを提供。利用データなどを事後に分析して利用者のニーズを把握し、地域の関係者とともに観光地の魅力向上に活用する。

○実験期間：2019年12月～2020年2月
※MaaSアプリは、2019年8月28日サービス開始

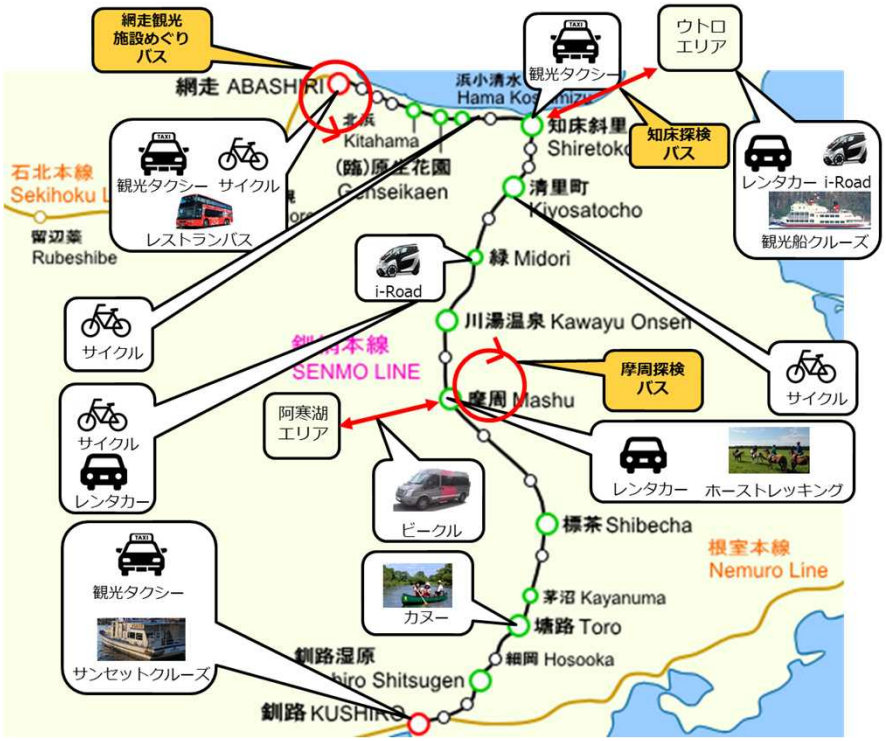
○参画する事業者等
WILLER（株）、JR釧網本線維持活性化沿線協議会、JR北海道、阿寒バス（株）、網走バス（株）、斜里バス（株）、くしろバス（株）、金星釧路ハイヤー（株）、（有）阿寒観光ハイヤー、（株）網走ハイヤー、（株）斜里ハイヤー、ひがし北海道自然美への道DMO、　AZAPA株式会社　等

○MaaSアプリの構築・提供
＜対象交通手段＞
鉄道、バス（路線バス・空港バス・定期観光バス・レストランバス・シェアバス）、タクシー、レンタカー、超小型モビリティ、レンタサイクル

＜提供するサービス＞
経路検索、予約、決済

○特記事項
・デジタルフリーパス（ひがし北海道ネイチャーパス）販売
・観光ツアー、体験アクティビティ、遊覧船の予約・決済
・提携観光施設、商業施設で使用可能なクーポンの提供
・日英中3ヶ国語対応
・アプリや車載センサーからのデータ収集・分析

＜展開エリアイメージ＞



パーソナルモビリティ「i-ROAD」
・トヨタ自動車の超小型電気自動車（１～２人乗り）

レストランバス
・1階がキッチン、2階がレストランルーム。現地の景色を堪能できる。

※冬期は利用可能なモビリティに変更あり